



仲村ひであき 県議会ニュース

vol.7 2021年冬【発行】千葉県議会議員 仲村秀明

仲村ひであきが令和2年12月定例会の質問に立ちました。

(公明党千葉県議会議員団)

令和2年12月定例会が開催され、公明党会派を代表して仲村ひであきが新型コロナウイルス感染症関連や医療、福祉、経済、教育、環境等の多岐にわたる県内の課題について質問しました。

1. コロナ禍における課題について
2. 経済対策について
3. 少子化対策について
4. 医療問題について
5. 防災について
6. 環境問題について
7. 重層的支援体制整備事業について
8. ヤングケアラーについて
9. 交通安全対策について
10. 働き方改革について
11. いじめ問題について
12. 千葉港について
13. 警察署における課題について

今議会での仲村ひであきの質問をダイジェストで紹介します。

(詳しくは千葉県議会ホームページで録画をご覧ください)



ヤングケアラーの現状把握と、支援体制の確立を!

家事や家族の世話をを行う子どもとその家族への支援体制整備へ

家族にケアが必要な人がいて、家事や家族の世話をを行う子ども（ヤングケアラー）は、年齢や成長に見合わない重い責任を負うことで、自身の育ちや教育に影響が及んでいる可能性があります。同世代に悩みを共有できる人が少なく、介護が日常になっている為、支援が必要な状況を自身が認識していないケースも多く、表面化しづらいことも指摘されています。そこで、県内のヤングケアラーの状況把握と支援を訴えたところ、支援体制整備と共に、子どもの健やかな成長と教育の機会を確保し、子どもが世話をしている家族に適切な福祉サービス等が提供されるよう取り組むとの答えを得ました。



誰も置き去りにしない社会を実現する基盤の整備を!

重層的支援体制整備事業の体制整備に向け、県の支援が重要

人口減少や社会の複雑化・多様化に伴って「8050問題」、「ダブルケア」、虐待、孤独死など新たな課題が表面化しています。従来の制度・分野ごとでは対応が難しく、解決できない事態が発生してきました。こうした状況に対応する為、どんな相談も最初の窓口で丸ごと受け止める「包括的な相談支援」、本人と社会とのつながりを回復する「参加の支援」、住民自らの意思で行う多様な活動や居場所を増やす「地域づくりに向けた支援」の三つの支援を一体的に実施する重層的支援体制整備事業が新たに創設されることになりました。そこで、県として今後どう取り組むのか問いました。県では、市町村の相談支援機関へのバックアップや、人材育成研修などを行っている。これまでの取り組みに加え、国の指針を踏まえて、市町村の体制整備を支援すると答弁しました。



チーパスの対象年齢18歳未満までの拡大が実現!!

令和3年4月1日からスタートします

子育て家庭を支援する目的で作られたチーパスは、協賛店で様々なサービスを受けることができます。現在は全国でも利用可能となり更に活用の幅が広がりましたが、既に他の都道府県では同様の子育て支援パスポート事業の対象年齢を18歳未満までとしているところが多い中、チーパスの対象年齢は中学生までです。利用者からは対象年齢を引き上げてもらいたいとの声が上がっています。そこで、チーパスの対象年齢の引き上げを求めたところ、知事は令和3年4月1日からのチーパスカードの更新に合わせ、対象年齢を18歳未満へ引上げると答弁しました。



第二の就職氷河期世代を生まない取り組みを!

コロナ禍における新卒者への就労支援強化へ!

コロナ感染拡大の影響による雇用環境の悪化で、来春の新卒採用に大きな影響を及ぼしています。第二の就職氷河期世代を生まない為に県はどう取り組むのかを問いました。県では、県内企業に対して中長期的な視点に立った新卒者等の採用維持・促進を働き掛けると共に、「ジョブカフェちば」において、ウェブによる模擬面接や就職相談を行うほか、オンラインによる合同企業説明会など、円滑な就職決定に向けた取り組みを行っており、今後は、県内外の大学等との連携を一層深め、第二の就職氷河期世代を生まないための新卒者等の就労支援を更に進めると、知事からの力強い答弁を得ました。



経済的に苦しい若者の新婚世帯に応援を!

来年度、更に事業を導入する市町村が増加見込み

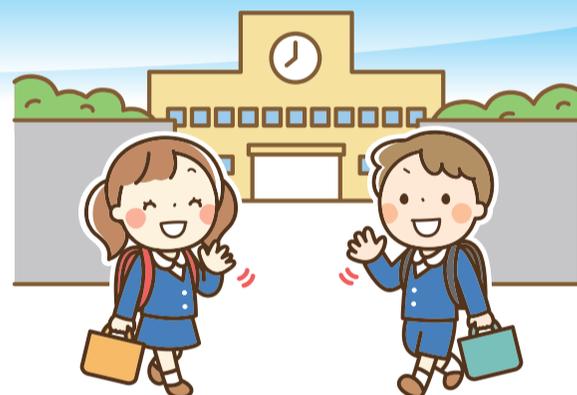
結婚したばかりの若者の新生活を支援する事業として、結婚新生活支援事業があります。来年度からは補助上限額を現行の30万円から60万円に倍増させるとともに、年齢条件や世帯年収要件も緩和をして対象を拡充する事を検討しており、私の元にも期待の声が寄せられています。そこで、県内実施状況と、今後の取り組みについて問いました。副知事から今年度は12市町村が事業を実施しており、令和3年度は更に事業を活用する市町村が増える見込みで、円滑に事業を実施できるよう支援していくとの答弁があり、市町村の事業実施に対する積極的な支援を要望しました。



児童生徒への心理的調査とケアの実施へ

コロナ禍による児童生徒の心理的影響への対応を!

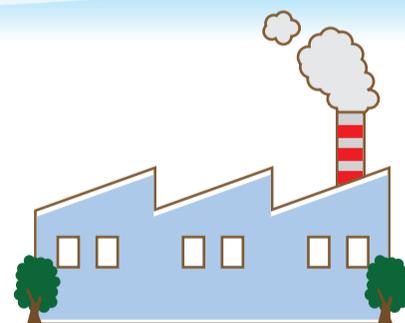
未曾有のコロナ禍において感染拡大防止の為、学校の一斉休校が行われるなど、児童生徒に大きな影響を与えています。コロナ禍による長期間の臨時休校が児童生徒に与えた心理的影響について調査し、その結果に沿った対応の必要があると訴えました。教育長からは児童生徒の心理面への影響も懸念されることから、不登校やいじめの状況、児童生徒が抱える悩み等を調査し、必要に応じスクールカウンセラー・スーパーバイザー等を派遣して対応するとの答えがありました。



「千葉県地球温暖化対策実行計画」見直しに向け検討!

計画の目標の見直しで、一層の温暖化対策強化へ。

菅首相が2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする目標を掲げました。温暖化への強い危機感を表明し、対策の抜本強化の必要性を訴えた意義は極めて大きいと思います。ひるがえって、県における温暖化防止に対する取り組みを見ると、平成28年に「千葉県地球温暖化対策実行計画」を策定して推進が図られていますが、昨今の状況から当時策定した計画では目標値が低い為、見直しを図るべきと訴えました。知事からは県としても、一層の温室効果ガス削減につながるよう、「千葉県地球温暖化対策実行計画」の見直しに向けて検討するとの答弁を得ました。



プロフィール

なかむら ひであき
仲村 秀明

昭和44年7月2日生まれ 千葉県出身

千葉県議会議員(船橋市選出、2期)。公明党千葉県議会議員団所属。
議会運営委員、総務防災常任委員。船橋市芝山在住。
仲村ひであきの議会活動は、ブログ、フェイスブックでも発信しています

県政についてのご意見を
お寄せ下さい

[FAX] 047-409-0265
[メールアドレス] info@nakamura.chiba.jp
[HP] http://nakamura.chiba.jp